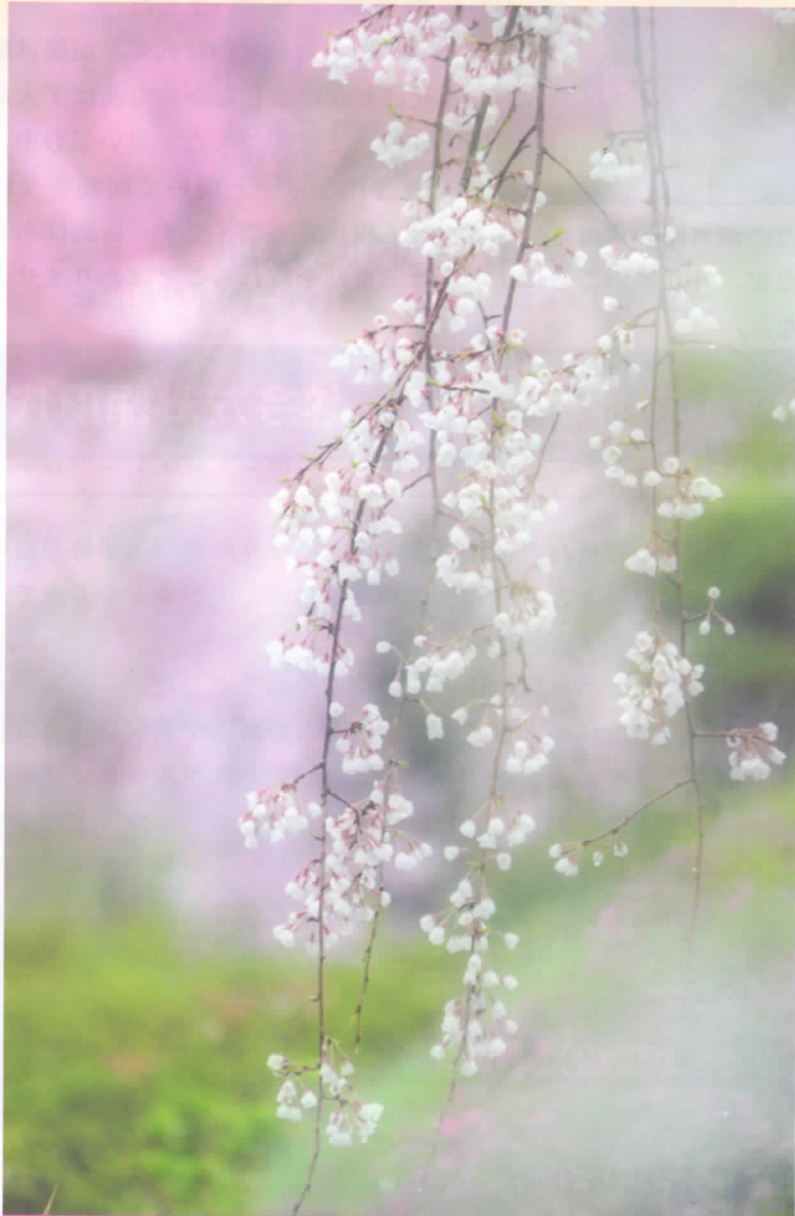


文化情報誌

# Passion

・ パッション

特集「ひととまち」



輝くひと ピアノ演奏を楽しみ、経験を積み上げて  
FLASH 郷土芸能を受け継いで  
— フォンテ・クラシカ

四日市諏訪太鼓グループ「龍雅」 井濱克也さん

誌名の「パッション」は  
燃えるような“情熱”の意味です。

元気な四日市が好き!!  
一般社団法人  
四日市市文化協会



2016  
march 58

# 伊勢に生まれて物怖じするな

三重県宅地建物取引協会 会長 山路 忠



私は四日市市で生まれ、高校までは四日市市、大学は名古屋、卒業後はまた四日市市で就職しました。その頃は四日市が良いと思って戻ってきたのではなく、都会への憧れもあり、できれば都市部の大企業にと思っていました。

ところが就職難の時代で、面接試験を3社ほど受けましたが、力及ばず入ることができませんでした。思い悩む中、地元の会社なら…と聞いて面接を受けましたのが当時の東海電線株式会社（現住友電装）です。転勤はありましたが、有り難いことに仕事場は三重県を離れることはありませんでした。

今は会社を退職して不動産業（宅地建物取引業）を営んでいます。

四日市に帰ってきて40年ほどたちますが、ふと思うと、昔から祖父母より言われてきた「伊勢に生まれて物怖じするな」との言葉を思い出します。

考え方は人それぞれだと思いますが、私なりの解釈は伊勢神宮のご加護があるということでしょうか。具体的に何があるか考えてみると、まず自然災害に強い地形があるでしょう。

伊勢湾台風などの暴風雨は過去に何度かありましたが、何より水が豊富です。全国的に渇水対策中でも四日市で断水や制限は、ここ何十年と聞いていません。またその水はきれいでミネラルウォーターを買うより、水道水でも十分おいしい。当然この水を使ったうどんや豆腐なども大変おいしい。

地形的には伊勢湾が外洋での津波を軽減してくれる。また、四日市にも楽しい祭りがある。何しろ便利で物価も高くない四日市が好きです。（あくまで私見ですのでお許しください）

Passion



表紙写真 春初め(はるぞめ) 撮影: 蔭地敏男

ひとの営みがあってこそこのまち。まちは時代も文化も映し出す。  
今回のタイトルは、「ひととまち」です。

# Passion

**58** 2016  
march

巻頭によせて

伊勢に生まれて物怖じするな

三重県宅地建物取引協会 会長 山路 忠

## 特集 ひととまち

ひとが主役、まちが舞台——諏訪商店街の取り組み  
まちなか文化祭実行委員会 …… 2

我が街よ 藤村学会役員  
藤の会会長 市川 雄二 …… 4

商店街という生き物 NPO法人UD  
ほっとねっと理事長 伊藤 順子 …… 5

### Sparkling Personality 輝くひと

ピアノ演奏を楽しみ、経験を積み上げて — フォンテ・クラシカ … 6

#### 四日市の城跡を歩こう ⑤

大矢知陣屋跡 網の会 …… 8



**FLASH** 郷土芸能を受け継いで 男児市男児本誌 井濱 克也さん …… 9

#### 四日市地域 まちかど博物館めぐり

模型の sow-i (ソーイ) 趣味が仕事に発展 …… 10

#### 訪問レポート

「感動」を生き生きと語り合う シニア「男の囲炉裏端」の会 …… 11

#### 人生道中藤栗毛

テキサスでマッチャ 四日市市茶道連盟  
裏千家 中川 久代 …… 12

### ＜… パッションひろば …＞

「パッションひろば」では、文化協会の活動報告を中心に、協会主催催事のレポートなどをご紹介します。

**文芸ひろば** 気軽に俳句を 平野 透 …… 13

芝田尚輝さん 平成二十七年四日市市文化功労者に 西田 青沙 …… 14

第14回短詩型文学祭受賞者一覧 …… 15

第65回四日市市民芸術文化祭  
「日本舞踊まつり」が開催されました …… 16

第三回キッズ伝統文化体験教室 …… 17

第65回四日市市民芸術文化祭  
総合美術展を終えて …… 18

四日市市文化協会後援イベントのご案内 …… 19

短信/リレーエッセイ/理事長のつぶやき/編集後記 …… 20

四日市市文化協会に関するお問い合わせや、  
入会のお申し込みは、下記へご連絡ください。

〒510-0057 四日市市昌栄町 21-10

TEL・FAX 059-351-3729

<http://www.yokkaichishibunkakyoukai.com>

Eメール ybk-jimu@m2.cty-net.ne.jp

開局時間 月曜日から金曜日までの  
12時～17時(祝祭日は除く)



特集 ~ひととまち~

## ひとが主役、まちが舞台 —諏訪西商店街の取り組み

まちなか文化祭実行委員会

上映会場前で市民と触れ合うこにゅうどうくん

昨年11月7日8日の二日間、こにゅうが主役、まちが舞台のフリーズで、第12回まちなか文化祭が諏訪西商店街(公園通りアーケード)で開催された。最近四日市が映画のロケ地として何本かの映画に登場していることもあってテーマは「映画」。中高生のブラスバンド部による映画音楽の演奏、高中生制作の映画上映、よっかいちフィルムコミッション提供の四日市がロケ地となった映画の紹介のほか、子供たちのスタンプリヤーや高校美術部の作品展示もあった。中でも圧巻はまちなか文化祭実行委員会制作のこにゅうどうくん主演のショートムービーである。

### こにゅうどうくんの日常と悩み

—「道100」—

「ゆるキャラグランプリ」に立候補したこにゅうどうくんは、票集めに奔走するが、人気投票の行方が気になる。ある日、父である大入道が人々の喝采を浴びながら堂々と町中を行く姿を目にする。どうしたら自分もあんな風になれるのだろう、と悩み、グリーンモールに立つおじさんの中入道の元を訪れると…。これから先のお話はぜひ本編をご覧ください。

15分ほどの実にシンプルなストーリーだが、映画に出てくる四日市の施設や風景、懐

かしい昭和初期の四日市祭の映像に、観た人はふるさと四日市を改めて考えるきっかけができたのではないだろうか。



商店街の店舗での上映風景

## 何故ここにゆるキャラくんが主演の映画製作を？

文化祭実行委員長でこの映画の監督を務めた久安典之氏に話を伺った。「実行委員会で今回の文化祭のテーマを『映画』と決めた時、単に映画音楽の演奏や展示をしたりするだけでなく、もっとリアリティーを持たせるために自分たちで映画を作ってみようということになりました。撮影をするにつれてここにゆるキャラくんが市民の間で認知されているのを知っていましたが、男女や年齢を問わず絶大な人気があるのには驚きました。出演者はす



子どもたちの演奏を見守る街の人たち

べて四日市在住の人。市や商工会議所の職員、商店街の人たち。一般の市民や子どもたちが出演してまさに、ひとが主役、まちが舞台を実現することができました。」

## コミュニティの創出

この文化祭は諏訪西商店街の人々が、今はすわ公園交流館となっているかつての市立図書館の取り壊しを巡り、国の登録有形文化財として保存して活用することになっ

たことがきっかけで始まったものである。毎年交流館やアーケードで様々なイベントを開催している。

久安氏は言う。「今回映画製作やイベント作りに協力してくれた人たちは、主に20代30代40代の四日市の町を今後どうしていきたいかを考えている人達です。彼らの中には、参加してこの町をもっと知ることができた、仲間ができたと感想をくれた人もいて、これから中心街で何かができる予感がします。」

地方都市が抱える問題は四日市も同じである。中町から本町通り。新道通りから諏訪栄、一番街、二番街。四日市の中心は変遷をとげ、高度成長、バブル期と相まってそれは大層に変わったものだ。今中心街を歩いてみるとその様相の変わり方に驚く。しかし様々に変わってはいくけれど、それでも街は確かに生きている。この灯を消すことなく、四日市市民が、老いも若きも一緒になつてそれぞれのやり方で魅力的な街を作るため力を注いでいく。そうすればきっと人々の集う新しいコミュニティが生まれるのではないだろうか。

さて実際の「ゆるキャラグランプリ2015」のこにゆるキャラくんは全国1727体中37位と大健闘したことから「第66回NHK紅白歌合戦」に出場したことを最後に御報告しておこう。

(レポート 石塚眞木)



## 我が街よ

藤村学会役員／綱の会会員

市川 雄二

近鉄四日市駅北口を降りて、外へ出ると正面に大きなパチンコ屋がある。そこを右に曲がると真っすぐに舗道が延びていて、その先に諏訪一番街のアーケードがあり市のマスコットキャラクターである「こにゅうどうくん」が迎えてくれる。

戦後には、この街の大通りを近鉄電車が走っていて、その中央には近鉄諏訪駅があった。かつての驛の改札口付近には、現在の「文化の諏訪駅」がある。昔も今も繁華街の中心で、その頃は雑多な日用品を売る小さな店舗が肩を寄せ合って商売をする雰囲気があった。歩くだけでも楽しく街全体に活気があった。私は毎日この電車に乗って塩浜まで通学していたので記憶は鮮明である。「文化の諏訪駅」は市の文化施設で文字通り、文化の発信受信の基地である。私はその主旨に賛同して、駅長さんの奨めで文学講座を開講した。

テーマを明治文学にしぼり、北原白秋、樋口一葉などを取り上げて、4年目を迎えている。是非、この街の活性化に少しでも役立てば、と考えたからである。この街の懸案は、物品販売業やサービス業の店が少なくなり、昼間の客足が途絶えがちなことだ。

諏訪神社は由緒ある郷土の鎮守神である。門前には、旧東海道の参道が一筋に貫いていて歴史散歩を楽しむ人たちも多い。少し足をのばせば、丹羽文雄生誕の地、崇顕寺がある。公園の敷地内に「五箇条の御誓文」の碑が聳

えている。村山清八・謹建之（昭和9年3月吉日）と彫られている。どのような動機でこの時期に建立されたものか、是非、知りたいものである。

諏訪栄町の夜の顔は一変する。赤い灯、青い灯が巷にあふれ若いカップルや会社仲間のグループが闊歩する。週末ともなると、居酒屋、和洋料理店、すし屋、中華料理店など、華やかさと騒々しさが同居して、街全体が活気を帯びてくる。街なかを歩いていて気がつくことは、飲食店が多くそして若い経営者が増えていることだ。然も夫婦で頑張っている。二人で意気投合して起業したのであろうか。そう思うと、つい暖簾をくぐり、励ましたい気持ちになる。

人間が生きてゆく上で最も大切なのは何であらうか。「人間の尊厳」であり、その根底にあるのは、文化や芸術を身につけ自身のアイデンティティを確立することではないか。そんなことを思いながら、机に向かってい



市川 雄二

放送大学三重同窓会会長  
島崎藤村学会役員(2016年現在理事)  
三重歴史研究会会員  
四日市綱の会(歴史)会員



# 商店街という生き物

NPO 法人 UDほっとねっと理事長

伊藤 順子

JR線から本町プラザ方面を見た、昭和初期あたりの四日市本町通り商店街

人の中の街の記憶よりも、街の中の人の記憶の方がはるかに大きいに違いない。  
本町通り商店街は、明治23年に関西鉄道四日市駅が完成した頃から100年以上続く老舗が残る商店街だ。どれだけ多くの人がこの街を歩き、どれだけたくさんの物語がここから生まれたのだろうか。今はシャッターが目立つ四日市本町通り商店街だが、きっと四日市内のどこの商店街よりも、人に関わる記憶は多く眠っているだろう。

場の持つ力と言ったら良いのだろうか、商店街という場所には、生き物のような気配があるような気がしている。商店街は、ある時は子どもの夢を育み、ある時は若者のパワーを受け止めてきた。そして超高齢社会の今は、お年寄りを元気にさせる力を持っている。それは、おばあちゃんの原宿として有名な巣鴨で立証済みだ。今でもお年寄りで賑わう巣鴨には、キャリーバッグを頼りに商店街を歩き、行く先々の店の人と他愛ないおしゃべりをして、結構な額の買い物をして大満足で帰っていくお年寄りがたくさんいる。商店街のキーワードは「健康」だという。そう言えば、赤パンツも、ウナギも、薬も目指すところは健康なのだが、実のところ一番の魅力は店の人との会話らしい。

ネットでもどこでも物が手に入る時代の購入者を元気にする一番の付加価値が、「人と会話」にあることを図らずもお年寄りが証明しているのだが、商品よりも店主が主役の商店街の構造がまさにこれに呼応している事に気付いている人はまだ少ない。

当NPO法人UDほっとねっとは、無料な名称で申し訳ないが、「買い物弱者対策を考える会」の事務局をしており、地域のお年寄りの見守り活動をする団体と一緒に、昨年6月から「本町通りでお買い物」というイベントを始めた。地域の方に参加希望者の取りまとめをお願いし、企業の協力によりお年寄



つまみ食いツアーの様子

りの多い団地と本町通りをマイクロバスで結び、商店街には試食品の提供をお願いし、ボランティアが「つまみ食いツアー」の案内役を務めるという企画だ。毎月26日には、各店から出される試食品と、お年寄りの笑顔が溢れている。

今更ながら、人は人によって元気になるものだという事に気付く。イベントは、年末を除く毎月26日開催。たまには、商店街という生き物に飲み込まれ、ちよっとばかり元気になるのも悪くないのではないだろうか。

「おでかけサポートセンター」059-325-7246

「ピアノが弾きたい」「ピアノを楽しみたい」「ピアノを教える、教わる」人とピアノとの関わり方はさまざまである。「生のピアノ演奏を楽しみたい、聴いてほしい」というコンセプトの下で演奏活動続けるフォンテ・クラシカさんは今年の10月で20周年を迎える。今回は、演奏会のリハーサルで忙しい合間に、出演者の皆様にこれまでの19年間を振り返りお話を伺った。――

### 結成のきっかけ

フォンテ・クラシカは四日市出身で名古屋音楽大学教授の佐藤恵子先生が、今から20年前に「音楽好きの人たちが、四日市で音楽を楽しめるイベントが出来れば」という思いから、名古屋音楽大学の卒業生を中心に呼びかけて結成された。

演奏会に携わった卒業生の数はこれまでで80人以上になるそうだ。表舞台に立たなくても舞台裏をフォローするメンバーが絶えずいて、この演奏会は成り立っているという。このメンバーの中には、当然ながら四日市出身者や在住の方もみえる。そして運営と演奏は主に卒業生が中



Sparkling Personality 輝くひと

ピアノ演奏を楽しみ、経験を積み上げて

—— フォンテ・クラシカさん

心となっている。佐藤先生はあくまでもアドバイザーと指導のみに徹しているとのこと。先生は40歳まで四日市に在住されており、「私は四日市人」とおっしゃるぐらい四日市を大切にされていることが伝わってくる。

### ピアノJOURNALS

皆さんにピアノとの出会いをお聞きすると平均3〜4歳ぐらいからが圧倒的に多く、他の習い事も経験され最後に残ったのがピアノだったようだ。

家庭には音楽やピアノの環境がなかったが、自分の意志でピアノに興味を持ち、叔母からピアノを習いはじめ、小学生の頃には既に佐藤先生の個別指導を受けている方、また幼少期に親の奨めで音楽教室のグループコースでピアノと出会い、その時は練習が嫌で教室から幾度か飛び出すこともあったが、気がつくともピアノを弾くことが大好きになっていたという方もみえる。高校生になると吹奏楽部の活動も平行しており、色々な楽器がある環境だったのでリズム感が鍛えられて、ピアノ演奏に大変役に立ったという方も。学生時代か



らこのコンサートを聴きに來ていた方は、大学を卒業して自分自身がこのステージに立てた時は、大変感慨深いものを感じられたそうである。

このようにメンバーの皆さんは、それぞれにピアノと出会い、後に本格的に佐藤先生の指導を受けることになる。お話を聞いていると、真剣にピアノに目覚めた時がスタートすべき時期になっており、何よりピアノの音が好きな方々ばかりだと感じられた。

## 第19回演奏会にうかがって

今回取材として、演奏を聴く機会をいただくことができた。



第19回の演奏会はロマン派への扉を開いたベートヴェン以降の作品を中心に、時代の移り変わりや作曲家の個性を感じ取れるプログラムで構成したそうである。

まず何よりも出演される皆さんがピアノの演奏を楽しんでいるということが伝わってくる。作品に込められた意図、楽譜からのインスピレーションを「ピアノの音」で表現されているように感じた。

多くの方が、大学を卒業すると仕事、結婚、子育てなど、生活の変化でピアノに向かう時間が限られるようになる。しかしこのような人生経験が「独自のスタイル」になり、演奏を通して弾き手の人間性が豊かに表れているような気がした。門外漢ながら素直にそう思える演奏会であった。

## 20周年への抱負

今年迎える20周年に向けての抱負をお聞きすると「感謝しかありません」と、迷わずこの言葉が佐藤先生の口から出た。

「卒業生が仕事、結婚、出産、子育て中ながらも、この演奏会がよくこ



これまで継続してきたと思うと、感慨深いものを感じます、そして、何よりも私たちの演奏会を聴きに足を運んでくださるお客様がいらっしやうたからこそこの演奏会です。それを考えると感謝の言葉が自然に出てきますね」

先生自身も15周年の時は、2台のピアノでメンバーの方と演奏された。その時既に20周年の演奏会の構想が頭に浮かんだそうで、それはメンバーの方々も同じだったようだ。

メンバーの方々のお話は、過去の演奏会のこと振り返りながら、佐藤先生への感謝の気持ちの言葉で

溢れていた。

「日々の生活の中で、長いブランクがありながらも、今回（19回）の演奏会に出演させていただいたのも佐藤先生のおかげです。さらに節目の20周年の演奏会のステージに立つことができれば大変幸せです」

佐藤先生に対する感謝の気持ちと、20年の節目のステージに立ちたいという強い憧れは、メンバーの全員に共通しており、それぞれの熱い思いが伝わった。

最後に次回、20周年の演奏会についてお聞きすると「演奏者自身も楽しみ、会場に聴きに來てくださるお客様にも楽しんでいただけるステージを考えており、今までの演奏会より少し趣向を凝らした、新しいステージ作りをメンバー全員で考えています」と楽しそうに語られた。

ピアノという楽器を通しての、人と人との繋がりを感じた時間であった。

(レポート 森 次男)

## フォンテ・クラシカ

20周年記念演奏会のご案内

日時 平成28年10月1日(土)

16時30分

場所 四日市市文化会館第二ホール

# 大矢知陣屋

## 綱の会



平成15年に陣屋跡の大矢知興譲小学校に設置された陣屋解説板

とき、野村増右衛門事件の失政により越後高田へ国替えとなり、入れ替わり備後福山から(奥平)松平下総守忠雅が桑名へと移り十萬石を領した。その後七代、一一〇余年に亘る。この時期に大いに発展する。

文政六年(一八二三)七代目忠堯のときに、武蔵国忍へ転封され五万七千石をあたえられた。しかし石高が減ったため武士たちの生活が苦しく、幕府に願い出た。そこで三重郡赤堀、朝明郡中野、員弁郡志知の七十二カ村を忍藩領の飛地領地として四万三千石を与えられた。この地を支配するため大矢知の地に陣屋が置かれた。

### 天領となる

天保十三年(一八四三)から安政元年(一八五四)まで十二年間天領となる。文化文政のころ外国船が度々現れるため、忍藩、会津藩が安房、上総の海岸防備を命じられた。その時、忍藩は、安房国に領地を与えられ、その代わり大矢知を幕府に治めさせた。

しかし海岸防止が高まり安房国は大藩の守備となり、忍藩は、大

矢知を回復することとなった。大矢知の陣屋の町

文政六年(一八二三)陣屋創設と同時に、四万三千石の陣屋の御用をはたした。

旧幕期から明治まで栄えたのは城下町の小型が、陣屋町といわれている。

油や、菓子屋、饅頭屋、桶大工、車大工、薬屋、呉服屋、八百屋、雑貨屋、鋳屋、石屋、ブリキ屋、畳屋、など五十戸余りの商売屋が並んでいた。

郷倉へ年貢米をおさめに來るための庄屋の宿、商人が宿泊する宿などがあり、大正時代まで繁盛していたという。現在も残っているのは饅頭屋丸井屋だけである。

陣屋の裏門が、近くの照恩寺の



現在の陣屋通りに残る唯一の饅頭屋丸井屋

山門として現存している。

菰野町竹成にある願行寺は大矢知陣屋の政務の代行取次ぎを行っていたようで、門前に役人の駒寄せの貴重な遺構がある。

陣屋地は、天保十三年(一八四二)学校地へ移転する。明治二年(一八六九)になって藩校の興讓堂を興した。その後この地が懲役場となったが伊勢暴動によって焼かれた。明治十三年大矢知興讓小学校として復活した。

陸路、水路は交通の要所

八風街道の東は東海道、西は中山道に通じ、交差する十字路中央



に道標が立っている。

右こものみち

左くわなみち、たどみち、

よっかいちみち とある。

朝明川は、伊勢湾との航路としても盛んであった。

(取材・文 綱の会 石谷英子)

参考資料及び引用文献  
ふるさと／大矢知陣屋のはなし／くわなの歴史

# FLASH

## 郷土芸能を受継いで 四日市諏訪太鼓グループ「龍雅」

い はま  
井濱 克也さん



四日市のみならず国内外でも活躍され、今年5月に開催される伊勢志摩サミット歓迎告知のイベントにも参加される四日市諏訪太鼓「龍雅」の井濱克也さんにお話をお聞きしました。

小学1年生から諏訪太鼓を始められたとお聞きしていますが、太鼓を演奏したいと思ったきっかけは？  
恥ずかしながら特にきつかけと云うものは無く、自分が住んでいる町内の小学生を集めて結成している子ども会が、毎年8月の大四日市まつりにて諏訪太鼓を演奏していただき、小学校入学を機に町内の子ども会に加わったのが始まりです。



「歓迎！伊勢志摩サミット2016盛り上げ隊」告知イベントにおいて

本日も寒風の中の練習で、本番での演奏は真夏が多いと思いますが、モチベーションはどのようにして持続されていますか？

自分が大好きな諏訪太鼓をどこ

まで極める事が出来るかというのがモチベーションとなっています。太鼓の上達にはゴールという物がなく、自身で勝手に限界を決めない限りどこまでも高みを目指す事が出来ると思っています。また、本番では練習で出来た事以上の事は出来ませんし、練習での取り組みがそのまま本番で表れます。観客の方々に満足行く演奏を見て戴く為にも練習を頑張らないという気持ちも、モチベーションに繋がっています。

国内外での演奏経験をお持ちですが、印象に残っている演奏地は何処ですか？  
そうですね。これまで20年近く

色々な場所で太鼓を演奏してきましたが、特に印象に残っているのは2009年（平成21年）に訪れたシンガポールでの演奏でしょうか。  
Victoria Theatre にご開催された第39回日本文化祭での演奏は、現地のシンガポール諏訪太鼓、長野県の御諏訪太鼓保存会、四日市諏訪太鼓「龍雅」で、県はおるか国すらも超えた3団体で同じ曲を合同演奏する事が出来、文化交流のひとつの到達点を実感することが出来たのではないかと思います。さらに、繁華街の中心にてゲリラライブを行った時は、通りすがりの現地の方々から写真を撮られたり、足を止めて聞き入って下さったので凄く嬉しかったですし、その風景は今でも思い出します。

小学1年生から始められ、今は中堅的な立場ですが今後の目標や抱負は？

今年はサミットイヤーということで、三重県には国内外を問わずたくさんの方が訪れると思います。もし、その方々にイベントで出会うことが出来たのなら、その方々の心に深く印象に残るような演奏をしたいと思っています！（取材 森次男）

かつて模型作りは男の子の多くが一度は通る道でした。今はむしろ完成品として売られるフィギュアに人気が移り、多くの模型店はアニメや映画のキャラクター・フィギュアも取り扱うようになっていっています。

四日市市内にも数軒の模型店があります。今回は、まちかど博物館の認定を受けている創業11年目の模型のソーイさんを訪ねました。

ソーイさんは諏訪公園近くの諏訪商店街の中にあり、館長の西畑昌典さんは模型作りのスペシャリストです。

入り口を開けると、四方に箱詰め  
の模型が商品棚やショーケース  
に並べられています。1階、店の  
奥が館長の西畑さんの作業場  
です。訪問した日は目の前でプラモ  
デル作りを見学することができ、  
溶剤の香りが軽くただよう作業場  
でお話を伺いました。

プラモデル作りに目覚めたのは？

「5歳ぐらいの時に、父や兄が  
プラモデルを作っている環境で

## 四日市地域 まちかど博物館めぐり ソーイ 模型の「sow-i」

### 趣味が仕事に発展

育ったので、自然と好きになりました。母以外は全員プラモデル作りが趣味でした。現在は父も兄も仕事優先になり、プラモデルに関わっているのは私だけです。私は、学生時代からプラモデルの仕事に就いたらと考えていました。」

展示プラモデルとお客様の年齢層は？

「うちの店は、フィギュアが圧倒的に多いです。他には戦車や車ですが、ほぼ横ばいです。年齢層は子どもさんが少なく、30代から40代の方が多いです。皆さんは、ほとんどがリピーターの方々です。」

展示はガンダムなどのキャラクターモデルや、SF映画の模型が展示されています。

「模型作りは溶剤や塗料を使うので、自宅で作れない方のために、有料ですが、2階に制作室も設けています。」

そう言って2階を見せていただく、勉強机ぐらいのスペースが設けられていました。この作業場を使われる人は、心の底から模型作りを楽しんでいるようです。



細かい作業をする西畑館長

館長の作業風景を見ると、沢山の種類の色を使い分けて、細かい色付けや、エアブラシで丁寧に色付けしている姿は職人の世界そのものです。

西畑館長にとってこの仕事で一番喜びを感じるのは、「お客さまが、長い時間を費やして作品を完成された時ですね」と、笑顔で話されました。

(レポート 森次男)



ずらり並んだ人気のキャラクターフィギュア



「ご来館をお待ちしています」

四日市市諏訪栄町 22-3  
電話 059-392-5161  
10:00～19:00 入館無料  
休館日は毎週木曜日

第一木曜日の10時から「なやプラザ」で催されるシニアサークル「男の囲炉裏端」の会にお邪魔しました。この定例会も45回目を迎えるとのことですから、軌道に乗っているというところでしょうか。

定年退職したサラリーマンの集まりですから、当然無職の方はありません。男子禁制ならぬ女子禁制であるところが、大変ユニークで、どこか笑いを誘われるような、懐かしさも感じられます。

部屋いっぱい、大きな輪の形に、机と椅子がセットされています。



定例会の風景

20数名のシニア世代の方が、車座の形で着席しています。志田米蔵代表のあいさつに続き、担当者から、定例会の進行についての説明や、活動の経過報告があります。今回は「感動したこと」について、3分間で話す予定が組まれていました。順次そのときのテーマに沿って語り合います。

食道ガンの告知を受け、放射線治療で克服したときの感動。海外旅行で体験する未知との遭遇、その新鮮な驚き。5人の孫に囲まれ、世代がつながっていくことの嬉しさ。スーパームー

## 「感動」を 生き生きと語り合う

シニアサークル  
「男の囲炉裏端」の会

訪問レポート



今日のテーマの「感動したこと」について発表する会員

ンを撮影中、たまたま航空機が月を横切り、思わずシャッターを押した千載一遇のチャンスなどなど。会員それぞれの視点で、感動を共有できるように語られ、和やかな空気が、囲炉裏端を囲むように流れていきます。

つい熱が入って、時間をオーバーすると、時計係がトークを遮る無慈悲なストップをかけます。いよいよ佳境に入るといふ山場のシーンでも、中断の憂き目に遭います。

「これからは、ええとこやったのに」

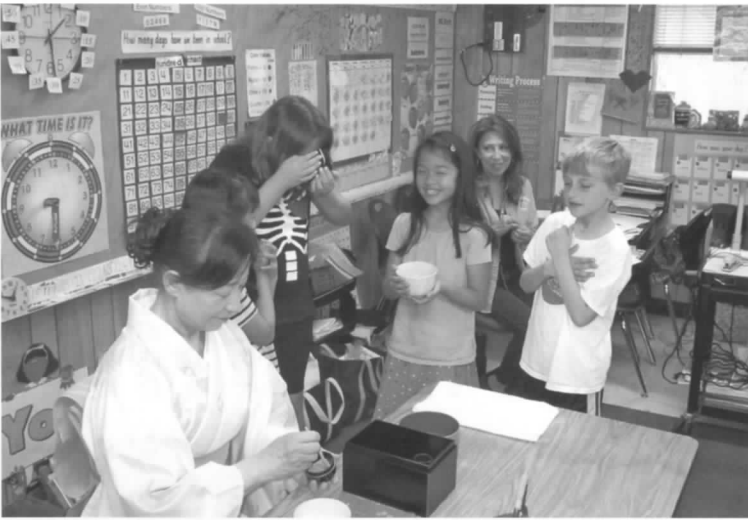
和気あいあいの笑いの渦がひろがります。

志田米蔵代表のもと、男の居場所づくりを目指すボランティア団体として、上下関係のないフラットなサークルも4年経過したそうです。スピーチを集めたエッセイ集も準備中とかで、シニアサークル「男の囲炉裏端」の会、佳境に入る、といったところでしょう。生き生きしているシニア世代を目の当たりにして、勇気づけられた気がしました。

(レポート 加藤恵子)

# テキサスでマツチャ

四日市市茶道連盟裏千家 中川 久代



日本のお抹茶に興味津々の子どもたち

娘婿の仕事のため、娘一家4人がテキサスのオースティンに引越しました。孫娘2人は日本人が1人もいない現地の小学校と幼稚園に入学しましたが、先生やお友達に暖かく迎えられ、楽し

い学校生活をおくっています。上の孫娘が通う小学校において、ペアレンツデーと言う名前

で父母が学校に行つて何かのボランティアをする日があり、その日に日本の茶道を2年生の同級生に紹介しました。前もつて娘から言われて

ましたので、お茶用の銀瓶(ヤカン)と茶箱(お抹茶をたてる道具全てが入っている箱)、そして着物を持ってテキサスに行きました。つたない英語ですが、

茶道について説明した後、先生がこの為に用意してくれたお琴による『さくらさくら』をバックミュージックにして、お手前のパフォーマンスをしました。

達は苦いと言うのかなと思いきや、さすがアメリカ人、第一声は「I like it!」「It's good!」でした。抹茶アイスを食べたことがあると言う子もいました。

日本から持ってきた和菓子がおいしかったこともありましたが、お茶もおいしく感じたようです。絵入りの懐紙もきれいに見えたようで、ブックマークにするという子もいました。アメリカのスターバックスにはマツチャ・マキアーツもあり、お箸を使える人も増えています。

スーパードで大根を選んでいる私にポイルして食べるのか?と聞かれ、ちよつと違うとは思いつつも英語で説明するのも面倒なのでイエスと答えてしまいました。アボカド、サーモン、チーズの入った寿司ロールも普通に売られており、トーフ、ウドン、エダマメの言葉は英語になっています。アメリカ人にとって日本人は世界一の長寿の国として知られており、日本食は健康食として非常に人気があります。

このように日本に関心を持つ人が多くなり、良き日本の伝統と文

化をもつと知ってもらいたい気持ちがこの経験を通して非常に強くなりました。40余年前アメリカに2年間滞在した経験もあります。当時は1ドル360円でもあり、貧しく子育てに追われて生活することが精一杯で何もできませんでした。今度はこのような機会を積極的に利用して、孫達に「おばあちゃんの英語は…」と言われてもめげず、アメリカ生活を楽しむと共に日本文化の紹介などに挑戦する夢がふくらんでいます。



子どもたちに茶道についての説明

# パッションひろば

「パッションひろば」では、文化協会の活動報告を中心に、協会主催催事のレポートなどをご紹介します。

文芸ひろば  
芝田尚輝さん平成二十七年度四日市市文化功労者に  
第14回 四日市短詩型文学祭受賞者一覧  
第65回 四日市市民芸術文化祭 日本舞踊まつり  
第3回 キッズ伝統文化体験教室  
総合美術展  
四日市市文化協会後援イベントのご案内

## 文芸ひろば

### 気軽に俳句を

平野 透

長い間、執筆いただいた松澤白楊子先生に代わり、担当させていただきます。初回ですので、俳句の基本につき述べます。

俳句は、俳諧連歌の冒頭の句「発句（五七五）」の独立したものが始まりです。江戸時代に松尾芭蕉（一六四四〜九四）が出て、文芸としての芸術性を高めました。

更に明治時代には、正岡子規（一八六七〜一九〇二）が、近代芸術として仕上げました。特に子規は、客観的写生を主張して近代俳句を確立し、現在に至っています。

俳句の基本は、「有季定型」です。  
一、有季 季語を必ず有し、新年・春・夏・秋・冬の五つに季語が分類されます。「歳時記」に各季語の説明と例句が載っていて、季語を理解するのに役立ちます。四季のある日本では、各季節を詠むのに適しているといえます。

二、定型 五七五の十七音で詠む日本語は、五音七音の韻律のリズムがよく、感度高く心に響きます。

この様に、俳句は日本の四季と日本語の優れた韻律を結びつけた代表的短詩型文学といえます。具体的に、第十四回四日市短詩型文学祭（平成二十七年十一月）の俳句の部から、秀句を紹介し

ます。

〈一般の部〉応募部一三八句より

四日市市長賞

法被着て祭の顔となりにけり 榊原 弥八

四日市市議会議長賞

独り居の気儘吊り置く秋簾 吉田きみ子

四日市市教育委員会賞

篝火の火の粉の修羅を鵜が潜る 塚山 勝英

短詩型文学祭の作品集に、松澤白楊子先生が選評されていますので、若干の付言で理解を深めてくださいと思えます。

市長賞の句は、法被を着ることにより、身も心も祭の気分（顔）になり切って、祭りを盛り上げていく姿が浮かんできます。

市議会議長賞の句は、一人暮らしの気楽さ（気儘）と秋の季節（秋簾）を「吊り置く」と巧みに結び付けた表現が素晴らしい。

教育委員会賞の句は、鵜飼の凄絶さを「火の粉の修羅を鵜が潜る」と詠み、鵜飼を見物しているような臨場感で活写しています。

いずれの句も日常生活の中から、詠む対象をしっかり捉えてひとつに縛り、情景がはつきり浮かんでくる表現（決して難しい表現ではなく）に仕上がっています。俳句は難しくありません。

みなさんも、気軽に挑戦されてみては如何でしょうか。

平成27年11月3日

### 芝田尚輝さん

## 平成二十七年四日市市文化功労者に



受賞された芝田尚輝さん



田中市長より表彰状を授与

平成二十七年十一月三日、一般

社団法人四日市市文化協会副理事長の芝田尚輝さんが平成二十七年の四日市市文化功労者として、栄えある表彰を受けられました。

氏の温厚で物静かなお人柄は誰しも敬愛するところですが、昭和五十四年（一九七九）四日市北部市民文化団体協議会の設立に貢献され、同会があさけプラザ文化

団体と名称を変更した後もその会長に就任し、八十八団体、約一五〇〇名もの多くの会員のまとめ役として精力的に活動されてきました。傍ら、詩吟の三重岳仁会では副会長として伝統文化の継承



奥様（前列左）とそのお友達が祝福

普及、後進の指導育成に尽力されております。

平成十五年（二〇〇三）、四日市市文化協会との合併後は副理事長を務め、四日市市の文化振興に多大な功績を挙げておられるのは周知の通りです。

同時に受賞されたのは、萬古焼の技術の継承と後進育成に貢献された陶芸家、水谷幸勉（本名之彦）さん。文化財の保存・継承に貢献された智積町の椿岸神社獅子舞保存会の皆さん。そして四日市市文化奨励賞を受賞されたのは声楽家の安田未央さんです。

（西田 青沙）



同時に受賞された皆さんと



会場まで祝福に駆けつけた関係者の皆さん



大西ご夫妻からお祝いのフルート演奏





平成27年11月3日

# 第14回 四日市短詩型文学祭 受賞者一覧

平成27年度第14回四日市短詩型文学祭には、一般・小中学生併せて延べ1559名が参加され、合計2314作品が寄せられました。その内、次の方々の作品が優秀とみとめられましたので表彰されました。(敬称略)

## 一般の部

### 四日市市長賞

口野 光康 榊原 弥八 広森 多美子 深谷 孝夫 西尾 泰一

### 四日市市議会議長賞

田中 笹子 吉田 きみ子 橋倉 久美子 木田 肇 後藤 彰子

### 四日市市教育委員会賞

川村 かほる 垠山 勝英 北田 のりこ 本橋 ちとせ 松井 みゆき

### 四日市市文化まちづくり財団賞

藤牧 つた子 長谷川 宏 位田 仁美 大橋 仁司 杉野 朝音

### 四日市市文化協会賞

大森 孝一 高橋 玲子 大嶋 都嗣子 桐山 勸 中村 伊都夫

### CTY賞

安里 檀 若山 一清 梶川 和代 藤澤 徳人 中北 ひろみ

## 小中学生の部(重複受賞者は一度のみ掲載します)

### 優秀賞

伊藤 直希 則竹 寿紀 田垣 玲美 水谷 涼花 赤塚 冬桃  
近藤 真優奈 清水 陽向 西井 詩織 佐藤 美耶 春田 優奈  
中村 太郎

### CTY賞

谷口 莉理歌 南部 百音 植村 涼寧 西村 省栄 細川 敬輝

### 奨励賞

小林 優斗 杉野 雄太 松波 琉未 山崎 皓大 佐藤 七実  
太田 礼 北 悠花 藤井 元貴 清水 翔 廣田 真奈実  
中村 莉彩 山田 麻瑚 内田 昊志 梶山 愛渚 古市 梨桜  
松岡 虹希 中川 太智 山下 さくら 水谷 汐莉 相馬 汐里  
松田 姫香 雨宮 里紗



表彰を受ける受賞者



開会の挨拶をする加藤恵子実行委員長

平成27年11月23日

第65回 四日市市民芸術文化祭

「日本舞踊まつり」が開催されました



長唄「手習子」

平成27年11月23日（月・祝）13時より、四日市市文化会館第2ホールにて、第65回四日市市民芸術文化祭の事業のひとつとして、「日本舞踊まつり」（主催：四日市市・四日市市文化協会、主管：四日市日本舞踊連盟（舞踊I部門））が開催されました。

これは市民芸術文化祭が始まった当初より開催されてきた伝統ある事業で、今回は四日市市文化協会に所属する10社中の内8社中（8流派：赤堀流・内田流・西川流・宗家西川流・花柳流・坂東流・藤間流・山村流）の幼児から先生までが出演しました。

出演者は色とりどりの和服に身を包み、邦楽（長唄・地唄・上方唄・常磐津・大和楽）とともに、それぞれの流派の踊りを披露しました。

来場した350名の観衆は、世代や演目により表現されるかわいらしさ、艶やかさ、凛々しさなど、日本舞踊の幅広い魅力を堪能しました。

プログラムには18の演目、流派、出演者とともに、それぞれの演目の簡単な番組解説が記され、また



長唄「松の緑」

幕間にもその解説が読み上げられるなど、踊りの情景や見どころを思い浮かべながら鑑賞することができ、作品そのものの世界も楽しむことができました。

秋の午後の穏やかな気候の中、このような機会を通して、約400年続く日本舞踊の歴史を感じるとともに、その歴史が次の世代に継承されていく期待が抱ける清々しい一日となりました。

（久安典之／写真 伊藤洋史）

### 第3回 キッズ伝統文化体験教室

四日市華道教授者連盟（会長熊本梨里さん草月流）七流派による小学生体験教室が四日市市文化会館で催されました。

各流派、池坊、未生流、小原流、



花材を横に生け花の心構えを聞く

「テレビを見ていて僕もやりたくなつて申し込みました」という男子生徒、「この枝はそのままだけど?」「これは長いけど切らないの」と即時答えた一年生の女子生徒、しっかりとした意思表示ができるのには感心しました。

専心池坊、草月流、MOA山月、臺会が年一回、交代制で担当しています。

今年は、専心池坊を学習

文化協会から各小学校を通じて募集、二十六名の小学生が集まり、大半は生徒自身が応募しています。

花材の前に教えられた寸法に思い切つて切り落としたり、枝のためかた（折れないように曲げていく）、奥行きの出し方など、小さな手で鋏を握りしめ熱心に取り組んでいました。



北川春堂先生から手ほどきを受ける

先生方は、本人の個性、能力を大切に指導しています。

自然の花にいかにも 語り合っているかのように楽しんでいるゆたかな受講風景でした。

支部長中川久香さんのお話

より多くの子どもたちに、実際に花に触れ、新鮮な感覚や、自分の工夫で花を生けることの楽しさを体験してもらいたいと思います。

(石谷英子)

平成27年11月21〜23日

### 第65回四日市市民芸術文化祭

## 総合美術展を 終えて

第65回市民芸術文化祭の一環として、平成27年11月21日から23日まで総合美術展が開催されました。

15ジャンルから会員の作品220点と公募作品15点を展示しました。市民芸術文化祭とも重なり、800名の方にご来場いただきました。駐車場が絶えず満車の状態で、引き返された方もあると聞き及び、申し訳なく思っております。

会場の1階に彫塑、写真、書道、伊勢型紙、2階には書道、銅板工芸、写真、手描き染、尾張絵、押し花・手毬などを展示しました。幅広いジャンルの作品をゆつたり展覧いただけるよう、スペースに工夫を凝らした見ごたえのある作品展に仕上がったのではないかと、と自負しています。

いずれの作品も、総合美術展に



熱心に作品を鑑賞する来場者

向かって情熱を傾け、構想を練り、幾度もやり直しを重ね、丹念に作成されたものばかりです。作者の熱い創作意欲が、どの作品にもみなぎっています。

私の「銅板工芸の会」ですが、文化協会美術部門に入会して3年

目になります。広く皆様に知っていただけるよう、出展数にこだわり励んできました。今回も会員の皆様のご協力で52点の展覧となり、会場の一角へ賑やかに、花を添えることができました。

来場者のなかには、知人の作品を発見して驚かれた方もいますし、製作工程の解説や苦勞話に耳を傾けたりして、双方の話が弾んだようです。

皆様のご協力で、充実した総合美術展を終えることができました。今後はより幅広いジャンルで、多くの方が参加できるシステム作りが必要でしょう。またより多くの方に足を運んでいただく工夫も必要でしょう。

今年、11月18日から20日まで総合美術展が企画されています。今から準備にかかり、充実した展覧を会員の皆様と目指したいものです。

(銅板工芸の会 太田進)

## 四日市市文化協会様御用達 パネル用“紙看板” フルカラーインクジェット大判プリント

900x1800mm 6,000円～ 耐久クロス地、ターポリン地 取扱い ☎ (059)353-3885

株式会社 **紺文** 旗店 <http://www.konbun.com>  
E-Mail [info@konbun.com](mailto:info@konbun.com)

〒510-0075 四日市市安島2-4-14 TEL 059-353-3885 FAX059-353-2417

# 一般社団法人四日市市文化協会 後援事業

本号発行から次号までの間の催事をご案内いたします。催事については各問い合わせ先におたずね下さい。

## 第52回 三省会書作展

日時 4月1日(金)～3日(日)  
会場 四日市市文化会館展示棟第1展示室(2F)  
主催 三省会  
入場料 無料  
後援 四日市市 中日新聞四日市支局  
(株)シー・ティー・ワイ エフエム四日市(株)  
問い合わせ ☎ 090-1825-1595 花井 高峰

## 第37回 四日市吹奏楽団定期演奏会

日時 4月24日(日)  
会場 四日市市文化会館第1ホール  
主催 四日市吹奏楽団  
入場料 前売り 大人1000円、学生500円  
当日 大人1300円、学生700円  
小学生以下無料  
後援 四日市市 三重県吹奏楽連盟 朝日新聞社  
中日新聞社 (株)シー・ティー・ワイ  
問い合わせ ☎ 059-386-4196 服部 剛

## 琴伝流大正琴 春の演奏会

日時 4月30日(土)  
会場 四日市市文化会館第2ホール  
主催 琴伝流大正琴四日市支部  
入場料 無料  
後援 公益社団法人大正琴協会 琴伝流大正琴全国普及会  
(有)日本バイオリン研究所  
問い合わせ ☎ 059-332-7565 清野 請子

## 春の花と緑の総合展

日時 5月4日(水)～5日(木)  
会場 四日市市文化会館第3展示室  
主催 四日市花の会連盟  
入場料 無料  
協賛 四日市を美しくする会  
内容 山野草・盆栽・洋らん・斑入り植物・草花花木約250点を展示  
問い合わせ ☎ 090-7307-8686 辰谷 和壽生

## 〈未知へのご招待〉マジックお楽しみ会

日時 5月5日(祝)  
会場 鈴鹿市文化会館 けやきホール  
主催 三重奇術愛好会  
入場料 無料  
問い合わせ ☎ 059-326-3587 川田 勝

## 四日市交響楽団第38回定期演奏会

日時 5月22日(日)  
会場 四日市市文化会館第1ホール  
主催 四日市交響楽団  
入場料 前売り 大人1000円 中・高校生500円  
当日 大人1200円 中・高校生700円  
後援 四日市市 四日市市教育委員会 中日新聞社  
(公財)四日市市文化まちづくり財団  
問い合わせ ☎ 059-355-7925 前嶋 喜三也

## セントラル愛知交響楽団第7回四日市定期演奏会

日時 8月11日(木・祝)  
会場 四日市市文化会館第2ホール  
主催 四日市クラシックファンクラブ  
入場料 前売り 大人2500円 高校生以下1000円  
当日 大人2800円 高校生以下1200円  
後援 四日市市 四日市市教育委員会 (株)シー・ティー・ワイ (公財)四日市市文化まちづくり財団  
問い合わせ ☎ 080-4222-3566 西村 邦彦

## クラシック音楽祭 2016 みえ

日時 9月22日(祝)  
会場 四日市市文化会館第2ホール  
主催 四日市クラシックファンクラブ 三重県  
入場料 前売り 大人2000円 高校生以下1000円  
当日 大人2500円 高校生以下1300円  
後援 四日市市 (公財)四日市市文化まちづくり財団  
問い合わせ ☎ 080-4222-3566 西村 邦彦

本年9月15日以降の四日市市文化協会後援事業の予定がありましたら、この誌面にて告知を掲載しますので事務局までご連絡ください。

冬の陽ざしのたまるころ、保育室では職員の間がはじまる。絵本は内田麟太郎さんの「ともだちや」である。子どもたちは目をキラキラとさせながら絵本に夢中である。

子育てに追われていた頃、寝る前の読み聞かせだけは頑張ろうとしたが、一ページも読むと眠るのは私のほうが先だった。それでも頭をくつつけてひとつの本を見ていたころが懐かしい。

ある日「童話を書きたいと思うなら、本を読みなさい」と助言を受けた。私はまず絵本からだと思っ



陽だまりにて 小川のんの

た。ほんとうを言う絵本だから合間に読めるだろうという安易な気持ちからだだった。しかし読めば読むほど絵本は深い。何かをよめるほど絵本は逃げていく。

そんな時出会ったのが林明子さんの「こんとあき」だった。小さな女の子がぬいぐるみと、電車でおばあちゃんの家まで旅をする物語りである。表紙の絵が子どもの頃読んだ物語の挿絵とそっくりなのである。色鮮やかで柔らかくてあの時のドキドキがよみがえってくる。そしていつの間にか、読むことのほうが楽しみになってしまった。古本屋で見つけた絵本が本棚に一つ一つ増えていく。二歳になる孫が棚からお気に入りに入るの絵本を出して私の膝に座る。片言で絵本の隅の隅を指さす。絵本のなかの電車が走り始める。

理事長つばやき

西川保歳

当協会は法人化されて1周年を迎えようとしています。1周年とはいえ長い活動の歴史があつてこそこの今日であることに他なりません。その中で縁の下の方である事務局員さんは協会と会員の皆さんを繋ぐ一番近い存在です。加藤事務局員は「会員の皆さんに親切であることが事務局の仕事です。」と話してくれました。17年間にわたり協会を見てきての言葉に身の引き締まる思いをしたのを忘れることが出来ません。今井事務局員は経理を一手に引受け処理を重ねていてくれます。事務局員は皆様に有意義な文化芸術活動が続け、継承していただくために肌理細かなお手伝いが出来ればと日頃から心を砕いています。

編集後記

●誌面のレポートなどから伝統文化や地域の身近な文化が他の国の人たちと共に楽しむ様子を知ることが出来ます。サミットを目前に個々にまた、団体に活発に動き出しているエネルギーを、ドキドキしながら感じる毎日です。特にボランティアで活躍中の人達は思いっきり力を発揮していただけるのでは？一歩ずつ、わが町四日市が、新しく蘇えていくことが楽しみです。

(石谷)

●今回新たに編集委員が二人加わりました。今後はこの方々がパッションの支えになっていただけると確信しています。ものづくりはいつの時代もひとりひとりの思いからしか生まれません。おそろくこの編集後記まで読まれる方は、日々こんなことを実感されていらっしゃることでしょ。そんな方々と歩んでいけたらと思います。

(久安)

短信

年末に送るひと、贈られたもの

昨年12月は人生の節々が集約されていた。

まず姪が昨秋、香港に単身赴任中の某氏の許に入籍。12月13日には一時帰国中の彼氏と共にささやかな披露宴を催して、クリスマスの日には姪が単身で香港に旅立って行った。

いわゆる今風であり、今春にはハワイで挙式をと、海外留学体験のある姪の言である。

4日後の17日には娘婿の母親61歳が急逝の訃報が舞い込んだ。住居が川崎市のため斎場が非常に混雑しており、22日に通夜、23日に家族葬となったが、娘夫婦は3歳と1歳の幼児を連れて一足先に駆けつけ、妻と私もその後を追って川崎に。母親と最後の別れに臨んだ故人の長女は、号泣して泣き崩れるばかり。

生前に母親が四日市の息子夫婦のためにと年末年始の食材を配達する準備をしていたのか、クリスマス前後には次々と品々が故人名で贈られてきた。いわゆるあの世からの贈り物である。娘夫婦は涙ながらにそれらを口にして、子を思う親の気持ちを噛み締めたに違いない。

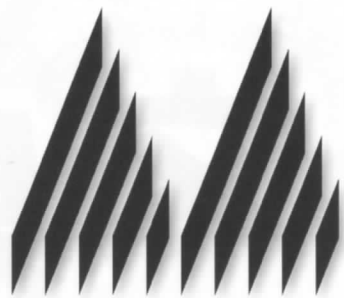
(志水雅明)

パッション 58号

- 発行 平成28年3月15日
- 発行人 西川保歳
- 編集 パッション編集部  
森次男(世話役)  
石谷英子・石塚真木・伊藤順子  
久安典之・吉川秀道  
西田青沙(オブザーバー)
- 発行所 一般社団法人四日市市文化協会  
〒510-0057 四日市市昌栄町21-10  
TEL・FAX 059-351-3729
- デザイン・レイアウト 高田敦
- 印刷所 水九印刷株式会社

**水** 九印刷は印刷事業を軸にデザイン企画、  
WEB制作、デジタルサイネージ(電子看板)、AR(拡張現実)、  
物流までお客様のあらゆるニーズにお応えしております。

あなたの想いを  
カタチに実現する



**MIZUKU**

地域と共に140年。

創業1875年(明治8年)を経て私達は常に革新し続けます。



**水九印刷株式会社**

〒510-0013 三重県四日市市富士町1-147

TEL.059-332-6600 FAX.059-332-6688

E-mail admin@mizuku.co.jp www.mizuku.co.jp

落ち着いた雰囲気個室から  
宴会にぴったりのお座敷も  
ございます。



竹姫弁当: 1,620円 (本体価格1,500円)

みやびの

お楽しみ膳



しゃぶしゃぶと日本料理

**四日市みやび**

四日市シティホテル 2階

〒510-0086 四日市市諏訪栄町 7-28



ご予約承ります

Tel.059-351-3600

ランチ/11:00~15:00(オーダーストップ14:00)

ディナー/平日:17:00~22:00(オーダーストップ21:00)

日曜:17:00~21:00(オーダーストップ20:00)

※写真はイメージです。※料理内容は季節により異なる場合がございます。

※価格はすべて消費税込みです。

近鉄四日市駅北口より徒歩2分

県下最大級文具売り場

目玉商品大特価 ビッグバーゲン

# 春の文具祭

3/25(金)・26(土) 9:00~22:00  
27(日) 9:00~20:00

文具・画材・額全品

メーカー希望小売価格より

# 30%OFF~

◎お買上げ1,000円以下の場合、クレジットカードのご利用はご遠慮下さい。

一部除外品あります  
(法令様式、特価品、高橋書店の手帳など)

## シェトワ白場

## 文具館

四日市市安島2丁目4-9 TEL 059-355-8577 <http://cheztoi-bungukan.com/>



### 貸ホールご案内

A(26名程度)  
B(16名程度)

- \*会議、研修、展示会等にご利用頂けます
- \*ご利用時間は午前10時~午後9時までの2時間以上
- \*ご利用料金は1時間につき¥640+税(2時間単位でお貸しします)
- \*電源使用の際は別途1時間¥100+税が掛かります

詳しくはお電話でお問合せ下さい

TEL. 059-353-7370 FAX. 059-353-7365

※お電話での商品の取り置きはできませんので予めご了承下さい。※数に限りがございますので、売り切れの際はご容赦下さい。※期間中のポイントカードのご使用はできませんが捺印はできません。

3/24(木)はビッグバーゲン準備の為、18:00閉店とさせていただきます。